

Interview

入職のきっかけ
やすらぎ荘に勤めたきっかけを教えてください

中学生の頃、やすらぎ荘で開催されたワークキャンプに参加したことがきっかけで、介護の仕事に興味を持ちました。地元の行事でやすらぎ荘との交流が多く、いつも楽しみにしていました。その頃から介護の仕事に就きたいと考えていました。

病院勤務 → 特養を選んだ理由

家族からの勧めもあり看護学校へ進学、病院勤務の経験を経て、積極的な治療をするのではなく病气や老いと付き合いながらその人らしく最期を迎えられるよう、支援をしていきたいと思うようになった時、やすらぎ荘の求人を見て応募を決めました。

病院勤務と特養の違い

例えば…食事量が減ってきたご利用者に対し、病院の場合点滴や経管栄養等の選択肢が優先されることが多いですが、ご利用者それぞれの生活背景や情報を共有しながら、ご本人の思いや、残っている力に寄り添ったケアをチームで考えていけるところです。

入職後、先輩職員や周りの職員からどんなサポートがありましたか

コロナ禍での入職でした。ご家族との関わりが制限されコミュニケーションが取れず、ご利用者の情報が少ない中で、先輩職員に生活背景など細かな情報を教えてもらいご利用者に寄り添ったケアに繋げる事ができました。医療的な指示等はもちろん伝えなければいけません、周りには介護歴の長い職員がたくさんいて心強く、とても助けられています。

失敗談や苦労している点

当番の時は、自分の判断で介護職員に指示を出さなければいけないので、自分の判断が合っているか、こうした方がよかったのではないかという不安は常にあります。

スケジュール

AM	PM
体調確認 バイタル・血糖値測定	休憩
配薬 朝食介助	体調確認 バイタル測定・内服準備
処置 機能訓練	おやつ介助 指示の注射施行
おやつ介助 入浴介助(手伝い)	夜勤者への申し送り
体調確認 血糖値測定 配薬 昼食介助	配薬 夕食介助

現場で心掛けていることはありますか

医療的なことだけでなく、日常生活全般に関わっていただけるように心掛けています。

今後取り組みたい挑戦したい事

地元の小学校で、福祉体験や「やすらぎ荘はこんな所だよ」と子ども達に介護の世界を知ってもらえるような活動ができればいいなと思っています。

印象に残っているエピソードはありますか

全然話をしなかったご利用者が「ニコッ、としてくれた笑顔や、手を握り返してくれるだけでもコミュニケーションとして喜びを感じられとても助けられています。

private

お家では…

時間を見つけて、しっかり睡眠をとって身体を休めています😊

やすらぎ荘 小笠原由美さん 看護職

2020.7

入職 4年目

